

- スマートメーター
- Aルート、Bルート
- DX
- 特定計量制度

「次世代スマートメーター」

現行のスマートメーターは2024年度には、全世帯への設置が完了します。スマートメーターの設置開始時から再エネ等の分散型電源や電気自動車の普及拡大、電力データを利活用した新たなビジネス等、大きく環境が変化しています。レジリエンスの強化、需給安定化、脱炭素化、需要家利益の拡大といった社会便益の増大を目的に、電力分野のDXを推進する観点で、カーボンニュートラル時代に向けたプラットフォームとして、次世代スマートメーターの検討が行われています。Bルート通信にはWi-SUN方式に加えて、Wi-Fi(2.4GHz帯)の採用、次世代スマートメーターを介したガス・水道の共同検針や特例計量器データを電力システムに統合するためのIoTルートが検討されています。

